

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年08月29日

計画の名称	八百津町における循環のみちの実現（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和03年度～令和06年度（4年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	八百津町													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		129	A	129	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R3当初)	(R5末)	(R6末)
1	下水道による都市浸水対策の達成率を61.2%（R3）から71.4%（R6）に増加させる。（降雨強度は、55mm/hで7年確率に対応）			
	下水道による都市浸水対策達成率	61%	69%	71%
	浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）			
2	雨水出水浸水想定区域図の策定率を0%（R6）から100%（R6）に増加させる			
	雨水出水浸水想定区域図の策定率	0%	0%	100%
	雨水出水浸水想定区域図の策定面積 / 雨水出水浸水想定区域図を策定すべき全体面積			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	八百津町	直接	八百津町	管渠（ 雨水）	新設	木曽川右岸排水区雨水管 整備（浸水解消）	雨水面整備 A=59ha	八百津町	■	■	■			115		-
	A07-002	下水道	一般	八百津町	直接	八百津町	管渠（ 雨水）	新設	八百津地区内水浸水リス クマネジメント推進事業	内水浸水想定区域図の策定	八百津町				■		14		-
											小計						129		
											合計						129		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

八百津町建設課にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和7年8月

公表の方法

八百津町公式ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

雨水管整備により、下水道による浸水対策達成率が71.8%となり、家屋等の浸水被害の軽減に寄与した。
事業計画区域においては詳細モデル、その他計画区域では簡易モデルの内水浸水想定区域図を策定した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）		
	最 終 目標値	71%	目標達成（42.1ha / 58.6ha × 100=71.8%）
	最 終 実績値	72%	
2	雨水出水浸水想定区域の策定面積 / 雨水出水想定区域図を策定すべき全体面積		
	最 終 目標値	100%	目標達成
	最 終 実績値	100%	